

「三番瀬専門家会議」の平成24年度方針

(1) 目的

三番瀬再生に係る事業を進めていく上で、学識経験者による科学的な知見が必要となる事項について専門的な見地から評価・助言を得ることを目的として設置する。

(2) 評価・助言を得る事項

- ①干潟的環境（干出域等）の形成に関する事項
- ②自然環境のモニタリングに関する事項
- ③その他科学的な知見が必要となる事項

(3) 平成24年度予定

<第1回>

日時：平成24年8月22日（水）18時～20時、場所：千葉県消費者センター

内容：「三番瀬自然環境調査について」、「市川市塩浜護岸改修工事について」、「干潟的環境形成試験について」

<第2回>

日時：平成25年3月中旬頃開催、場所：未定

内容：「三番瀬自然環境調査について」、「市川市塩浜護岸改修工事について」

<参考：千葉県三番瀬再生計画（新事業計画）の主な事業>

	事業名	事業の概要	平成23年度	平成24年度	平成25年度（予定）	参考 （基本計画）
1	干潟的環境（干出域等）の形成等	干潟的環境形成試験の実施、モニタリング。干潟的環境の拡大等、多様な環境の回復を目指す。	干潟的環境形成試験の実施 モニタリング4回実施	干潟的環境形成試験結果の検証 関係者と協議	→	三番瀬の水循環を健全化し、河川等からの土砂供給を回復させ、多様な塩分濃度を有する汽水的な環境を創出させ、海と陸との自然のつながる場所を増やし、生物種と環境の多様性の回復を目指します。
2	三番瀬自然環境調査事業	三番瀬自然環境総合解析結果を踏まえ、生態系を引き続き把握するための調査。	深浅測量調査の実施	鳥類調査	→ 検討中	現在残る干潟的環境を保全し、さらに多様な環境の復元を目指すとともに、行徳湿地や河川等と三番瀬の連続したつながりの回復を目指します。
3	市川市塩浜護岸改修事業（1丁目海岸再生事業）	約600メートルの護岸改修を進める。	暫定捨石300m 陸側H杭100m	暫定捨石300m 陸側H杭400m 海側H杭440m 被覆・パラペット30m	陸側H杭100m 海側H杭160m 被覆・パラペット570m	安全性が保たれていない護岸については、安全かつ生態系に配慮した護岸改修を早期に進めるとともに、ご護岸の海側及び陸側における自然再生への取組の検討、親水スポット等の整備により、海と陸との連続性の回復を目指します。
4	市川市塩浜護岸改修事業（2丁目、3丁目護岸改修事業）	約900メートルの区間において高潮防護のため護岸改修を進める。	（平成23年度まで） 2丁目護岸の被覆石据付550m	親水階段の内容等について協議 2丁目護岸200m	→ 3丁目護岸改修についての協議 2丁目護岸150m	